

CSR 目標と実績

東京エレクトロン（TEL）は各マテリアリティとその重点テーマを鑑み、年度目標と中期目標を設定しています。これらの目標の達成に向け、責任部署を明確にして組織的に取り組み、その実施状況を検証し改善するサイクルを推進しています。関連する SDGs の達成に貢献するとともに、TEL の企業価値のさらなる向上に努めます。

2018年度

マテリアリティ	重点テーマ	年度目標	実績
製品競争力	技術革新への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> 全機種における次世代向け新製品数の割合（3カ年累計） 20%以上 グローバル特許出願率 前年水準を維持 	<ul style="list-style-type: none"> 20%以上を達成 前年度水準を上回る 81.2%を達成
	製品の環境貢献	<ul style="list-style-type: none"> ウェーハ当たりのエネルギー使用量・純水使用量 10%削減（2018年度まで、2013年度比） 	<ul style="list-style-type: none"> 対象9機種のうち8機種で達成
顧客対応力	顧客価値創造	<ul style="list-style-type: none"> お客さまにおける TEL の価値向上 FS 事業の売上高、前年度比増加 	<ul style="list-style-type: none"> 旺盛なメモリ需要を背景に、主要顧客における売上の拡大を達成 前年度比 25%増加
	顧客満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度調査 3点以上（満足）の項目の割合 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 84.4%を達成
生産性向上	品質マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 品質改善コスト 前年度比削減 	<ul style="list-style-type: none"> 品質改善コストを含めた中長期的改善計画を展開
	バリューチェーンにおける品質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスプロセスの見直しによる営業業務工数 前年度比削減 	<ul style="list-style-type: none"> 営業業務を支援するシステムを展開
人と職場	ダイバーシティ&インクルージョン	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率を倍増（2020年度まで、2017年度比） 	<ul style="list-style-type: none"> 2017年度 1.8%から 2018年度 2.0%に向上
	キャリア形成	<ul style="list-style-type: none"> 1人当たりの受講講座数 前年度比 10%増 	<ul style="list-style-type: none"> 1人当たりの受講講座数 11.6
	ワーク・ライフ・バランス	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇取得率 70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 2017年度 64.3%から 2018年度 67.2%に向上
	健康と安全	<ul style="list-style-type: none"> 健康年齢*と実年齢の差を 1.5ポイント減（2020年度まで、2017年度比） *健診結果に基づいて生活習慣病リスクを年齢で表現した指標 労働時間 20万時間当たりの人身事故発生率（TCIR） 0.5未満 	<ul style="list-style-type: none"> 0.02ポイント減 0.20を達成
経営基盤	ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会実効性評価の結果、認識された課題に対する改善 	<ul style="list-style-type: none"> 成長戦略など中長期的な課題の検討を充実させるべく、オフサイト会議や社外役員意見交換会で討議実施 取締役会における社外役員比率、ジェンダーや国際性等の多様性については、継続検討
	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 海外グループ会社の社外窓口の設置および社内窓口の再整備 	<ul style="list-style-type: none"> 社外窓口設置に向けた外部機関の選定を実施 社内窓口体制の見直しを実施
	人権	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育受講率 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 100%を達成
	環境マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所におけるエネルギー使用量（原単位*）前年度比 1%削減 *原単位：各地区ごとに開発評価機台数、生産台数、床面積、工数の複合重みづけにて算出 各事業所で設定した原単位*による水使用量 2011年度水準を維持 *原単位：各地区で床面積、人数などをもとに算出 	<ul style="list-style-type: none"> 11事業所中、5事業所で達成 14目標中、12目標で達成
サプライチェーンマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン CSR アセスメントを実施したサプライヤー率 調達額の 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 調達額 80%以上を占めるサプライヤーにアセスメントを実施 	

2019年度

マテリアリティ	重点テーマ	年度目標	中期目標	SDGs への取り組み
製品競争力	技術革新への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> 全機種における次世代向け新製品数の割合（3カ年累計） 20%以上 グローバル特許出願率 前年水準を維持 	強いネクストジェネレーションプロダクトの創出	
	製品の環境貢献	<ul style="list-style-type: none"> ウェーハ当たりの CO₂ 排出量 20%削減（2024年度まで、2013年度比） 		
顧客対応力	顧客価値創造	<ul style="list-style-type: none"> お客さまにおける TEL の価値向上 FS 事業の売上高、前年度比増加 	唯一無二の戦略的パートナーになる	
	顧客満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度調査 3点以上（満足）の項目の割合 100% 		
生産性向上	品質マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> グループ内ナレッジ、強みの活用 	経営効率向上の継続的な追求	
	お客さまの生産性・歩留向上	<ul style="list-style-type: none"> フロントローディング、トレーサビリティの推進および実行 		
人と職場	ダイバーシティ&インクルージョン	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率を 2017年度 1.8%から、2020年度までに倍増 	夢と活力の最大化	
	キャリア形成	<ul style="list-style-type: none"> 1人当たりの受講講座数 前年度比 10%増 		
	ワーク・ライフ・バランス	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇取得率 70%以上 		
	健康と安全	<ul style="list-style-type: none"> 健康年齢と実年齢の差を 1.5ポイント減（2020年度まで、2017年度比） 労働時間 20万時間当たりの人身事故発生率（TCIR） 0.5未満 		
経営基盤	ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会実効性評価の結果、認識された課題に対する改善 	価値向上に向けた経営基盤の構築	
	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 海外グループ会社における内部通報窓口の再整備・取引先等通報窓口の設置（継続） 内部通報窓口の従業員における認知度 90%以上 倫理基準改定および年次基礎研修、誓約の実施率 90%以上 		
	環境マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所におけるエネルギー使用量（原単位）前年度比 1%削減 各事業所で設定した原単位による水使用量 2011年度水準を維持 		
	サプライチェーンマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン CSR アセスメントを実施したサプライヤー率 調達額の 80%以上 		